

<<Web調査>>
大学・大学院生に聞きました
「コロナ禍で就活はどう変わった？」
回答数：132人

調査の背景

コロナ禍が学生の就職活動にどのような影響を及ぼしているのかを知るため、大学3・4年生および大学院生を対象に、アンケートを行いました(2021年1月21日現在)

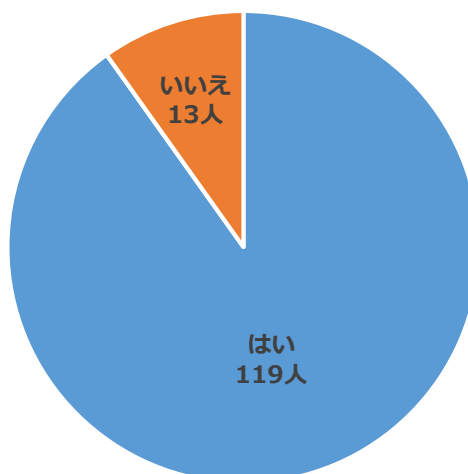
調査結果サマリ

- コロナ禍で就活が厳しくなったと回答した学生は9割を超え、予想通り厳しい結果となった。また、その理由としては、「新卒採用枠が減少もしくは無くなったから」が44.5%、「就職説明会やOB訪問等の情報収集の機会が減少したから」が24.3%、「希望する業界全体が不景気だから」が21%と、それぞれ一定の割合を占めており、不利な条件が複合的に重なっていることが伺えた。
- 卒業後の進路が未定の学生は全体の34%と、非常に高い結果となった。また、既に内定を得た学生の就職先に関しては、企業が44.6%、公務員・団体職員が14.4%と大半を占めた。起業は1人に留まり、自らビジネスを立ち上げるという選択肢は検討されにくい状況であることが感じられた。
- 就活支援政策としては、「通年採用など新卒にこだわらない採用方式」が44%、「就職できなかった人への経済的支援」が24.2%となり、就職機会の拡大やセーフティネットの重要性が伺えた。
- オンライン面接については、経験有が56%、経験無が44%となり、オンライン化が進んではいるものの、依然として対面式も多いことがわかった。また、オンラインになり不利を感じた人・感じなかった人はともに37人であり、不利を感じた理由の約半数は通信接続上の不安定さに起因するものであることがわかった。
- 経団連の新卒採用解禁日を指定する採用選考方式については、約半数が賛成、28.8%が反対と答えた。賛成が大幅に多く、その理由としては「自由な競争を阻害しているから」が58%と過半数を占めたが、「どちらとも言えない」という回答も2割以上と高い割合になった。

調査結果の詳細

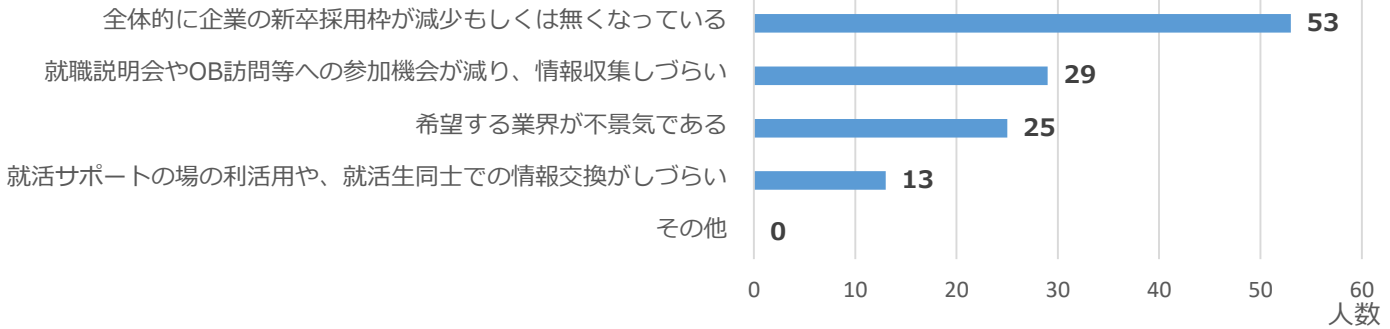
以下の通りである。

コロナ禍で就活は厳しくなった？

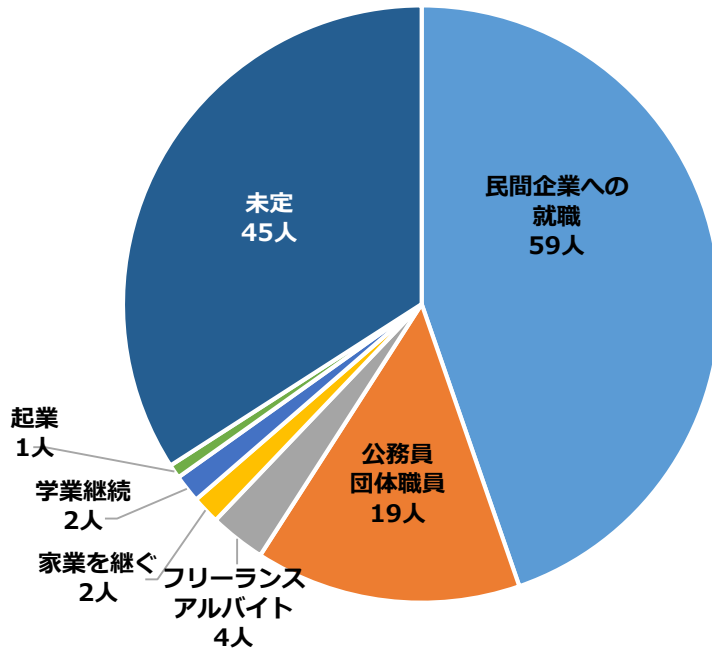


就活が厳しくなった理由 回答者数：119人

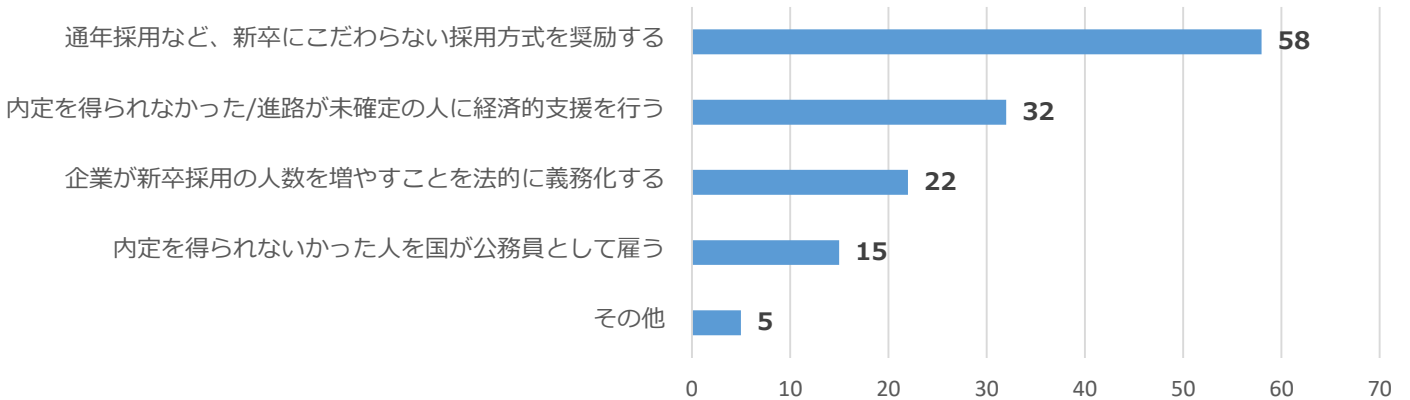
コロナ禍で就活が
厳しくなったと
回答した119人対象



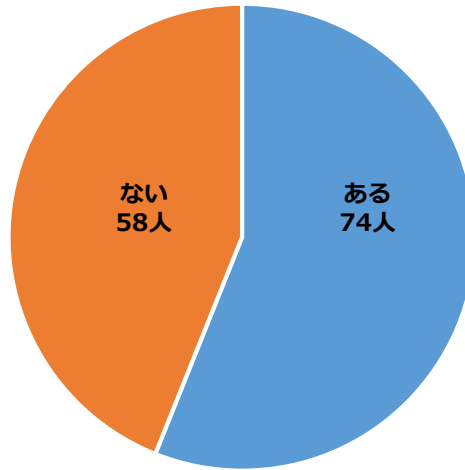
卒業後の進路は？



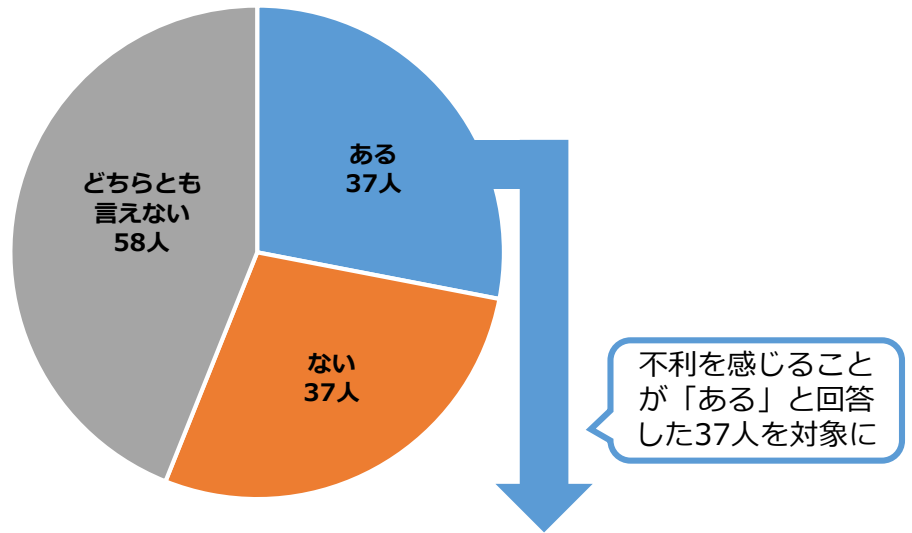
就活に関し、国にどのような対策を講じてほしい？



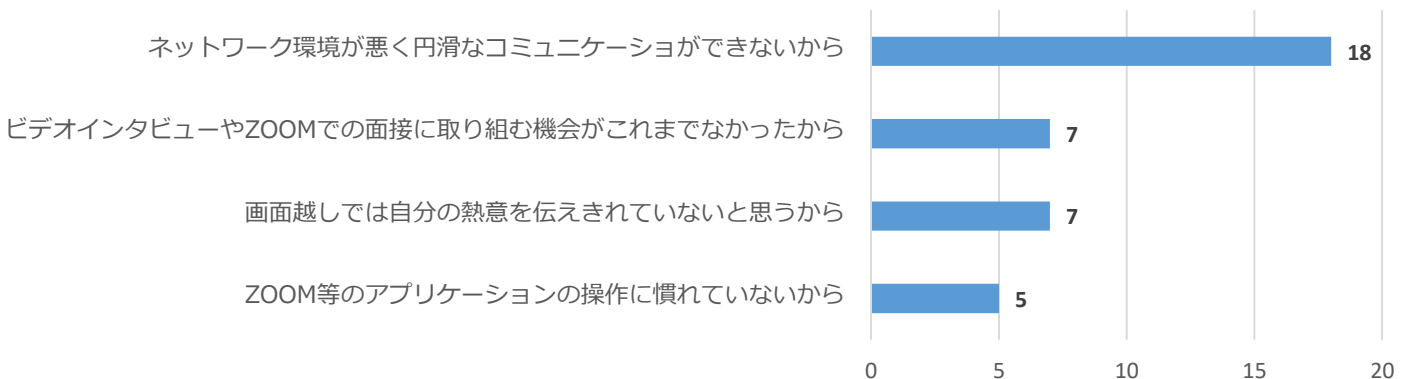
オンラインでの就活の経験はある？



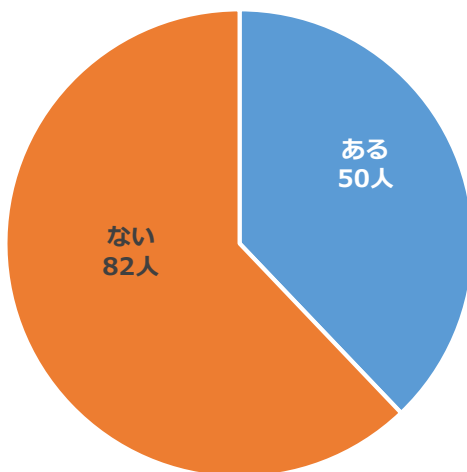
オンライン面接が増えたことで不利を感じることはある？



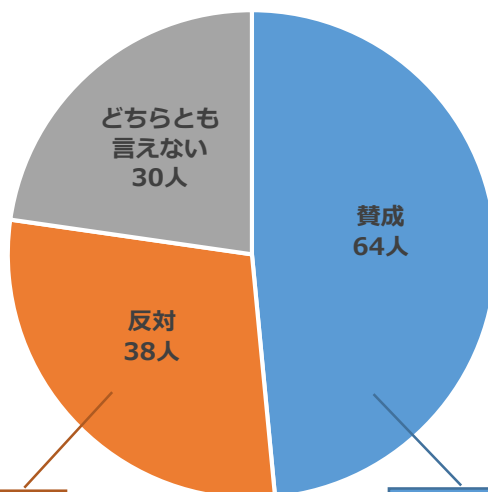
オンライン面接が増えたことで、なぜ選考上不利になったと思う？ 回答者数：37人



就活のために大学の授業等の勉強時間を確保できなかったことはある？



経団連の新卒採用解禁日を指定する採用選考指針に賛成?反対?



- 早期に内定を得たいから 16人
- 自由な競争を阻害していると思うから 22人

- 学業に集中できるから 28人
- 公平性を保てるから 36人

調査方法

インターネット上でのアンケート

※Yahoo!クラウドソーシング (<https://crowdsourcing.yahoo.co.jp/>) を活用

調査期間

2021年1月7日～21日 14日間

調査数

132人

注) 本調査は、Yahoo!クラウドソーシングサービスを活用し、属性等を指定することなく広く一般的に回答を集めたものです。